

平成24年度 後期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 市1

千葉市立千葉高等学校 全日制の課程 普通科・理数科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。 以下の場合、審議の対象とする。 ・普通科：40点以下の教科がある場合 ・理数科：国語、社会、英語が40点以下の場合 数学、理科が傾斜配点后75点以下の場合

(2) 調査書

評価項目	評価基準
教科の学習の記録	全教科の評定の全学年の合計値を算式1により求めた値で評価する。必修教科の評定（5段階）で2以下の教科がある場合は審議の対象とする。
出欠の記録	各学年15日以上欠席がある場合は審議の対象とする。
特別活動の記録	以下の点を参考とし、総合的に判定する。 ・生徒会：生徒会会長の経験 ・運動系部活動：中体連主催等の県大会ベスト8以上
部活動等の記録	・文化系部活動：関東大会以上のコンクール出場 ・その他：英検準2級以上の取得

### 3 選抜方法

#### (1) 選抜の方法

- 1 理数科の傾斜配点………数学、理科の得点を1.5倍（5教科合計600点）
- 2 選抜におけるA組、B組枠
  - (1) 次のアからウの条件を全て備える者をA組とし、この者は入学許可候補者とする。
    - ア 調査書中の評定について、算式1で算出した数値によって順位をつけたとき、次の（ア）又は（イ）に示すパーセント以内にあること。
      - （ア）受検者数が募集人員以内のときは、受検者数の80パーセント
      - （イ）受検者数が募集人員を超えるときは、募集人員の80パーセント
    - イ 学力検査5教科の得点合計によって順位をつけたとき、上記のアの（ア）又は（イ）に示すパーセント以内にあること。
    - ウ 調査書の記載内容、学力検査の個々の教科の得点に、特に問題となる点がないこと。
  - (2) A組に属さない者をB組とし、この者については、次の算式2によって求めた数値及び下記のアからウまでを資料として総合的に判定する。

算式2  $Y + K \times Z$

Y…学力検査の5教科の得点合計  
K…本校の数値は1  
Z…算式1で求めた数値

    - ア 調査書中の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭（選択科目については除く。）及び外国語（外国語については必修及びすべての生徒が共通に履修するもの。その他の選択科目については除く。）の評定（算式1を使用する。）
    - イ 学力検査の成績
    - ウ 調査書中の「必修教科の評定」、「選択教科の評定」、「総合的な学習の時間の記録」、「出欠の記録」、「行動の記録」、「特別活動の記録」、「部活動の記録」、「総合所見」等

#### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な扱いをすることがないように十分に留意する。

### 4 その他

過年度生については、個人面接を行う。

